

# 第Ⅲ章 市政戰略編

---



豊臣秀吉

徳川家康

織田信長

【三英傑】



ページの構成と見方

第三章 市政戦略編

小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現するため、「こども夢・チャレンジNo.1都市」、「健康・支え合い循環都市」、「魅力・活力創造都市」の3つの都市ヴィジョンをまちづくりの機軸に掲げました。市政戦略編は、この都市ヴィジョンを機軸としてまちづくりを進める上で、限りある行政の経営資源をより無駄なく最適に配分しながら、効果的・効率的で持続性が高い自治体経営を推進していくため、市長の強いリーダーシップと責任のもと、優先的に経営資源を投入し、強力に推し進めていくための事業群であり、どのような考え方やあるいは方策に基づき実現していくのかを示した「戦略」と、戦略の具体的な実行手段の核となる「重点事業」を示します。

都市ヴィジョン 1 「こども夢・チャレンジNo.1 都市」

これまで、「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」や「小牧市地域こども子育て条例\*」の制定、「こども夢・チャレンジ基金\*」、「こども夢サポーター制度\*」、「夢にチャレンジ助成金\*」などの創設のほか、「学習支援事業『駒来塾』\*」、「ひとり親家庭等支援事業\*」、「こまきこども未来館\*の開館」などに取り組んできました。

また、子育て家庭への支援としては、「子育て世代包括支援センター\*」による妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援体制の充実、「児童クラブの開所時間の延長」、「18歳到達年度末までの子ども医療費助成拡大」などに取り組んできました。

今後も、家庭環境や境遇に関わらず、すべてのこどもたちが夢を育み、未来を描いて挑戦することができるまち、そして、来るべき未来社会を見据えて、充実した教育・子育て環境を実現するため、次の戦略により、「こども夢・チャレンジNo.1都市」を目指します。

戦略1 すべてのこどもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

本市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるため、家庭環境や境遇に関わらず、すべてのこどもたちが夢を育み、夢へのチャレンジをまち全体で応援できる環境を構築するとともに、来るべき未来社会を見据え、こどもたちが社会の変化とともに自らを成長させ続け、生き抜いていける確かな力を身につけるための環境を整備します。

<重点事業1-1 こどもたちの夢への挑戦を応援>

こどもたちの夢への挑戦をまち全体で応援するため、企業、市民活動団体、地域、行政等、様々なサポーターと連携した講座等を開催することで、こどもたちが夢に挑戦するきっかけとなるような機会を創出するとともに、各種助成金等により、夢への挑戦の第一歩を後押しします。また、家庭環境や境遇によって、こどもたちが夢や希望をあきらめることがないよう、「駒来塾」による学習支援活動を推進し、高等学校及び大学等への進学支援として、育英資金の対象者拡大や生活困窮世帯等を対象とした新たな進学支援制度を創設します。

【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
こまきこども未来大学の受講者数	139人	190人	240人
駒来塾の参加者数	74人	100人	120人

【戦略】

都市ヴィジョンを機軸としたまちづくりを実現するための考え方やあるいは方策を示しています。



## 【重点事業】

戦略を実行する際の具体的手段の核となり、分野別計画編などの他の事業と比較して、特に優先度が高く位置づけられている事業を示しています。

### <重点事業1-2 子育て家庭への支援を強化>

安全・安心な妊娠・出産・子育てができるよう、子育てに関する様々な相談に応じることができ体制を強化し、それぞれの家庭環境に応じて必要な支援につなげます。また、本市独自の少子化対策の拡充として所得や出生順位に関わらず、保育園・認定こども園\*・小規模保育事業所\*に通う0歳児から2歳児までの保育料を無償化するとともに、学校給食費についても恒久的無償化の対象を更に拡大します。

#### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
子育て世代包括支援センターや各児童館(子育て支援室)での相談件数	7,976件	8,500件	9,000件
子育てについて相談できる人がいる保護者の割合	96.5%	100%	100%

### <重点事業1-3 未来を見据えた教育環境の整備>

既に設備が完了している1人1台タブレットの更新や高速で安定した通信環境を整備することで、より快適なICT教育環境を整えます。また、老朽化及び狭あい化の進む米野小学校の建替えを進めるとともに、市全体で児童生徒が減少していく中でも、こどもたちに充実した学びの場を確保するため、学校施設の適正規模・適正配置などの基本的な考え方を整理した計画を策定します。

#### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
タブレットを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	82.2%	85.0%	87.0%
新たな学校づくり推進計画の策定	設定なし	策定	設定なし

## 都市ビジョン 2 「健康・支え合い循環都市」

これまで、市民の健康づくりに向けて、本市独自の人間ドック制度や健康いきいきポイント\*制度の創設、各種検診・予防接種の充実、ウォーキングアプリ「alko」\*の開発、フレイル予防の実施、高齢者外出支援のためのこまき巡回バス「こまくる」の拡充、口腔ケアの充実などに取り組み、市民の元気づくりを応援してきました。

そして、地域協議会\*の設立・運営支援、支え合いいきいきポイント\*制度の創設、ふれあいいきいきサロン\*の設立・運営支援、こまき市民交流テラス「フクティブこまき」\*の開設など、支え合いの地域づくりに取り組んできました。

高齢者の割合が増え続ける中、地域で支え合って自分らしくいきいきと安心して暮らし続けることができる「幸せな高齢社会」を実現するため、今後も「健康・生きがいづくり支援と支え合いの地域づくりを両輪とした次の戦略により、「活力ある高齢社会(小牧モデル)」＝「健康・支え合

## 【事業の進捗状況を測定するための指標】

重点事業を実施したことで、目標にどの程度近づいているのかを客観的に確認するための指標であり、「指標名」、「基準値」及び4年後・8年後に達成すべき「目標値」を示しています。

基準値は、原則として令和4年度の数値を示しており、基準年度が異なる場合は基準値の下に( )書きで示しています。

## 第Ⅲ章 市政戦略編

小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現するため、「こども夢・チャレンジNo.1都市」、「健康・支え合い循環都市」、「魅力・活力創造都市」の3つの都市ヴィジョンをまちづくりの機軸に掲げました。

市政戦略編は、この都市ヴィジョンを機軸としてまちづくりを進める上で、限りある行政の経営資源をより無駄なく最適に配分しながら、効果的・効率的で持続性が高い自治体経営を推進していくため、市長の強いリーダーシップと責任のもと、優先的に経営資源を投入し、強力で推し進めていくための事業群であり、どのような考え方あるいは方策に基づき実現していくのかを示した「戦略」と、戦略の具体的な実行手段の核となる「重点事業」を示します。

### 都市ヴィジョン 1 「こども夢・チャレンジNo.1都市」

これまで、「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」や「小牧市地域こども子育て条例<sup>\*</sup>」の制定、「こども夢・チャレンジ基金<sup>\*</sup>」、「こども夢サポーター制度<sup>\*</sup>」、「夢にチャレンジ助成金<sup>\*</sup>」などの創設のほか、「学習支援事業『駒来塾』<sup>\*</sup>」、「ひとり親家庭等支援事業<sup>\*</sup>」、「こまきこども未来館<sup>\*</sup>の開館」などに取り組んできました。

また、子育て家庭への支援としては、「子育て世代包括支援センター<sup>\*</sup>」による妊娠から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援体制の充実、「児童クラブの開所時間の延長」、「18歳到達年度末までの子ども医療費助成拡大」などに取り組んできました。

今後も、家庭環境や境遇に関わらず、すべてのこどもたちが夢を育み、未来を描いて挑戦することができるまち、そして、来るべき未来社会を見据えて、充実した教育・子育て環境を実現するため、次の戦略により、「こども夢・チャレンジNo.1都市」を目指します。

#### 戦略1 …… すべてのこどもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

本市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるため、家庭環境や境遇に関わらず、すべてのこどもたちが夢を育み、夢へのチャレンジをまち全体で応援できる環境を構築するとともに、来るべき未来社会を見据え、こどもたちが社会の変化とともに自らを成長させ続け、生き抜いていける確かな力を身につけるための環境を整備します。

#### <重点事業1-1 こどもたちの夢への挑戦を応援>

こどもたちの夢への挑戦をまち全体で応援するため、企業、市民活動団体、地域、行政等、様々なサポーターと連携した講座等を開催することで、こどもたちが夢に挑戦するきっかけとなるような機会を創出するとともに、各種助成金等により、夢への挑戦の第一歩を後押しします。また、家庭環境や境遇によって、こどもたちが夢や希望をあきらめることがないよう、「駒来塾」による学習支援活動を推進し、高等学校及び大学等への進学支援として、育英資金の対象者拡大や生活困窮世帯等を対象とした新たな進学支援制度を創設します。

#### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
こまきこども未来大学の受講者数	139人	190人	240人
駒来塾の参加者数	74人	100人	120人

## ＜重点事業1-2 子育て家庭への支援を強化＞

安全・安心な妊娠・出産・子育てができるよう、子育てに関する様々な相談に応じることができ体制を強化し、それぞれの家庭環境に応じて必要な支援につなげます。また、本市独自の少子化対策の拡充として所得や出生順位に関わらず、保育園・認定こども園\*・小規模保育事業所\*に通う0歳児から2歳児までの保育料を無償化するとともに、学校給食費についても恒久的無償化の対象を更に拡大します。

### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
子育て世代包括支援センターや各児童館(子育て支援室)での相談件数	7,976件	8,500件	9,000件
子育てについて相談できる人がいる保護者の割合	96.5%	100%	100%

## ＜重点事業1-3 未来を見据えた教育環境の整備＞

既に配備が完了している1人1台タブレットの更新や高速で安定した通信環境を整備することで、より快適なICT教育環境を整えます。また、老朽化及び狭あい化の進む米野小学校の建替えを進めるとともに、市全体で児童生徒が減少していく中でも、こどもたちに充実した学びの場を確保するため、学校施設の適正規模・適正配置などの基本的な考え方を整理した計画を策定します。

### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
タブレットを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	82.2%	85.0%	87.0%
新たな学校づくり推進計画の策定	設定なし	策定	設定なし

## 都市ビジョン 2 「健康・支え合い循環都市」

これまで、市民の健康づくりに向けて、本市独自の人間ドック制度や健康いきいきポイント\*制度の創設、各種検診・予防接種の充実、ウォーキングアプリ「alko」\*の開発、フレイル予防の実施、高齢者外出支援のためのこまき巡回バス「こまくる」の拡充、口腔ケアの充実などに取り組み、市民の元気づくりを応援してきました。

そして、地域協議会\*の設立・運営支援、支え合いいきいきポイント\*制度の創設、ふれあいいきいきサロン\*の設立・運営支援、こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」\*の開設など、支え合いの地域づくりに取り組んできました。

高齢者の割合が増え続ける中、地域で支え合って自分らしくいきいきと安心して暮らし続けることができる「幸せな高齢社会」を実現するため、今後も、健康・生きがいづくり支援と支え合いの地域づくりを両輪とした次の戦略により、「活力ある高齢社会(小牧モデル)」＝「健康・支え合い循環都市」を目指します。



### 戦略2

“健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築

すべての市民が健康で生きがいのある人生を生きつつ、市民同士が地域で互いに支え合い助け合う、「健康」と「支え合い」が循環する仕組みを構築します。健康づくりでは、人生100年時代の到来に備え、生涯にわたって元気に活躍できるよう、心身ともに「健康」な状態を保つとともに、支え合い活動では、個人の学びを地域に還元できる支え合いの担い手を育成します。

### <重点事業2-1 人生100年時代の健康づくり>

人生100年時代の到来に備え、世代に関わらず心身ともに健康を維持するためには、「食事・運動・睡眠」のバランスが重要であることから、栄養バランスが学べる料理教室の開催や配食サービス、アプリを活用した運動のきっかけづくり、個人でも気軽にスポーツ施設を利用できるよう構築した予約システムの活用を促すことで、市民の健康づくりを強力に後押しします。また、企業や大学等とも連携しながら、新たなフレイル予防の拠点整備をはじめ、高齢者の買い物・外出支援とあわせて、フレイル予防事業の充実に取り組みます。

#### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	53.6% (令和3年度)	65.0%	70.0%
フレイルチェック測定会参加者数	119人	600人	1,100人

### <重点事業2-2 生涯学習を通じた生きがいづくりと地域を支える人材育成>

生涯学習を通じた個人の学びや趣味を自身の中にとどめるだけでなく、学びや趣味を通じて培った知識や技術を地域の人たちにも還元できるような人材を育成するため、「こまびサロン※」とこまき市民交流テラス「ワクティブこまき」等との連携を強化し、生涯学習の環境を充実します。また、こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」を拠点に、一人ひとりのライフスタイルに応じて気軽にボランティア活動に参加できるよう、活動内容や活動時間を自由に選べたり、一時的な活動も可能とするなどのマッチングの仕組みを構築します。

#### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
生涯学習に関する講座の受講者数	5,884人	10,000人	12,000人
ボランティア新規登録者数(累計)	0人	450人	680人



## <重点事業2-3 健康づくり・地域の支え合い活動の循環>

コロナ禍により停滞したコミュニティ活動を活性化し、地域の絆力を向上させるため、小学校区単位で設立が進んでいる地域協議会の活動を支援することで、地域住民の主体的な活動の場づくりを推進します。

また、健康づくり・支え合い活動の活性化のため、こまきいききポイント制度をより一層使いやすい制度に見直すとともに、これらの活動の地域内循環を生み出すための経済的トリガーとして、「市内限定商品券(プレミアム商品券)」を有効に活用します。

### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
こまきいききポイント還元者数	4,395人	5,300人	6,000人
福祉分野の活動をしている地域協議会の割合	69.2%	78.6%	86.7%
市内限定商品券が使える店舗数	604店	現状維持	現状維持

## 都市ビジョン3 「魅力・活力創造都市」

これまで、本市の将来を見据えて、市内企業の操業支援、企業誘致・産業集積の推進や、市内の消費循環を高めるこまきプレミアム商品券発行助成事業、史跡小牧山を会場とするこまき信長夢夜会や小牧発祥の名古屋コーチンなどを核とした観光振興などに取り組み、本市の魅力と活力を高めてきました。

地域ごとの取組としては、小牧市中央図書館\*の開館や小牧市中心市街地グランドデザイン\*に基づく取組等による中心市街地のにぎわいの創出、人口減少が進む東部地域における魅力の向上等に取り組んできました。

今後も、持続可能な魅力と活力あふれる小牧市を実現するため、次の戦略により地域活性化を図り、将来にわたって輝き続ける「魅力・活力創造都市」を目指します。

### 戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造

市民の愛着や誇りを醸成し、市内外から支持される魅力あるまちづくりを進めるとともに、本市の強みであるバランスの良い産業集積を持続的に高め、企業の新事業展開や生産性の向上を支援し、将来にわたって経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを構築します。

「小牧市中心市街地グランドデザイン」による中心市街地の魅力とにぎわいを創出するとともに、「東部振興構想\*」に基づく新たな魅力の創出や魅力の再発見を通じて、誰もが暮らしたくなる東部のまちづくりを進めます。また、北西部地区についても、道路や北西部地区公園などの基盤整備を計画的に進めます。

## <重点事業3-1 関係人口の拡大・深化>

市外に向けて、本市の特色や魅力を効果的に発信することで、小牧市へ興味・関心を持つ人を増やすとともに、ふるさと納税を通じた寄附などへの行動変容につなげます。





## 第Ⅲ章 市政戦略編

### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
市政情報に関する動画の閲覧数(累計)	105万回	190万回	280万回
ふるさと納税の寄附者数	56,088人	74,000人	89,000人

### <重点事業3-2 魅力と活力ある中心市街地の創出>

「小牧市中心市街地グランドデザイン」で掲げるまちの将来像の実現に向け、小牧駅と史跡小牧山、それらを結ぶシンボルロードを含む中心市街地の魅力と活力を高めるため、市民や商店、関係団体等と連携して、にぎわいと交流の創出に取り組むとともに、駅の東西空間と名鉄小牧駅ビルを一体的に捉えた整備について検討を進めます。また、民間活力を導入して小牧山東公園を整備するとともに、史跡小牧山の整備を進め、その魅力を効果的に発信します。

### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
中心市街地まちづくりプラットフォーム*登録者数	96人	130人	210人
中心市街地に立地している主な公共施設の来館者数	101万人	105万人	110万人
史跡小牧山を訪れた人の数	35万人 (令和4年)	38万人 (令和8年)	41万人 (令和12年)

### <重点事業3-3 夢と希望あふれる東部地域の振興>

「東部振興構想」の実現に向け、地域住民をはじめ、東部地域に関係する人たちと、まちの課題やまちづくりの方向性を共有し、夢と希望を持って連携・協力した取組を進めます。

### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
東部まちづくりプラットフォーム*登録者数	75人	140人	180人

### <重点事業3-4 市内産業力の強化と地域経済の活性化>

アフターコロナの持続可能な社会を支える産業・経済の確立を図るため、「小牧市企業新展開支援プログラム\*」を通じた支援を強化するとともに、ふるさと納税制度における魅力ある返礼品の開発を通じて、地場産品を創出して地域経済の活性化に取り組みます。

### 【事業の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目標値	
		(R8年度)	(R12年度)
企業新展開支援プログラムを通じた支援件数	919件	930件	940件
魅力あるふるさと納税返礼品の種類	378品	650品	930品





序章

第I章

第II章

第III章

第IV章

第V章

第VI章

資料編

